

## 「第2回大山ダムモニタリング部会」 議事内容

日 時：平成 23 年 3 月 11 日（金）13:30～17:00

場 所：独立行政法人水資源機構大山ダム建設所会議室及び大山ダム建設事業

出席委員：小野充之、小野孝、神川建彦、吉良今朝芳、古賀憲一、財津博文、佐々木茂美、  
佐藤仁藏、白石哲、平野宗夫（五十音順、敬称略）10 名

### 1. 平成 22 年度大山ダムモニタリング調査結果

平成 22 年度大山ダムモニタリング調査結果について事務局から報告があり、委員から以下の意見が出された。

- (1) 各項目の評価の視点について、妥当性を各委員が検討しておくこととする。
- (2) オオムラサキの成虫が吸う樹液が出るクヌギの分布状況を確認しておくことが望ましい。
- (3) 移植した植物がシカの食害を受ける可能性があるため、シカに関する情報を収集するとともに、糞粒調査等についても検討すること。
- (4) 水没する竹の迫以外に分布しているカビゴケについては、着床量などの生育状況が、竹の迫に比べてどの程度なのか整理する必要がある。
- (5) 河川植生にチマキザサの記載があるが、シャコタンチクの可能性があるため、再確認すること。
- (6) 大気環境における評価参考値の出典を明記すること。
- (7) 工事中の水質の評価については、環境基準と比較するのではなく、工事による影響を評価すべきである。また、環境基準と比較するのであれば、現状がどの類型に該当するのかを示すほうがよい。

### 2. 平成 23 年度大山ダムモニタリング調査計画

第1回大山ダムモニタリング部会で示された調査計画案について、第1回部会における委員の意見等を反映した見直し案が事務局から提示され、了承された。

以 上